(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日派遣決定番号

2022年2月8日

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小田原市		代表者名	小田原市長 守屋輝彦	
担当者部署	文化部 図書館		連絡先電話番号	0465-49-7801	
担当者役職	図書館長	担当者氏名	佐次安一	連絡先E-mail	
住所	250-0875 神奈川県/	1、田原市南鴨宮1-5-30			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本真	
評価	大変よい	
上 記 評価の理由(どのよう	に臨んだ。 アドバイザーからは、これまでの経験から現状に対する	域資料の現況等も含めて説明させていただいた上で、アドバイザリー のポイントやそれを踏まえた対応事例が数多く提示され、今後の業務展 グザーとの事前協議の中で、当館の様々な職種の職員を交えたワーク っての貴重な機会となった。
アドバイザー への要望事項	本市の課題の中心である地域資料の評価及び整理を進める上での具体に	的な観点、デジタル化による活用方策の道筋について、アドバイザリーをお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月24日	9時00分	17時00分	60	420
3-2.	会場名	小田原市立中央図書館		最寄駅	鴨宮駅
派遣場所	所在地	小田原市南鴨宮1-5-	30	最寄駅からの交通手段	タクシー
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可 ○掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

o. Marianzo XIX expressional and a second se					
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数			
	職員	10 人			
5-2. 支援を受けるにあたって目指し	5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市の図書館は、長年にわたる地域資料の収集業務は、求めに応じて公開している。今後さらなる有效 みづくりを考えているが、どのような方策で進める また、それに関連して、身近で役に立つ図書館のあ	が活用を進めるため、デジタル化による公開の仕組 るか専門的な知見からアドバイスを受けたい。			
支援により目指す成果	・地域資料デジタル化に向けた、所蔵資料の評価や				
(具体的にご記入下さい)	・ 効果的に活用する上でのブランディング手法の様 ・ 本市の現況や財産を活かした「図書館のあり方」				
アドバイザーに支援を受けた内容	 ・先進的な図書館の活動事例のうち、最近のトピッ	・ リクスと本市に適する事例の紹介。			
(具体的にご記入下さい)	・本市の地域資料についての評価。特に戦前からの	D旧役場文書や行政文書についての活用可能性につ			
	いて。 ・様々な職員が参加したワークショップを通して <i>0</i>	O、市民参加と図書館サービスに関する意識付け。			
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後、課題整理を進め、来年度に地域資料の活用だでの、道筋の概観を捉えることができた。 次の取組手順として、地域資料の調査・情報整理、 を検討する旨が提案されたので、具体的な作業に則				
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない			

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	アドバイザリーを受けながら現況整理を行っており 全体像が捉えられていないので、引き続き取組みを	の、取組の道筋が見えてきた段階である。現時点で を進めていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。		
	図書館の所蔵資料を中心とした活用方策の検討が主目的であり、内部での検討が中心なので、アンケートは行っていない。		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する	
事業の最終的な目指す姿	資料のデジタル化については一部予算がとれているほか、公開に向けた電子図書館の開設経費が予算化している。		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子



